

川井真由先生は神奈川県から推薦を受けて、令和5年4月からJICA(国際協力機構)の青年海外協力隊の一員として、ザンビア共和国に派遣されています。

## まゆ先生のザンビアうるるんにっき9



Mugone bwino. (ムゴネ プイーノ、おやすみなさい。) 年末年始の執筆が難しかったため、前回から約1週間の投稿になりました。(次号は1月上旬を予定。) 校長のつぶやきで、校長の安否確認をしている川井です。(つぶやきを催促してすみません。) うるるん9回目は、ザンビアで何をしているのか、について説明します。

### 青少年活動隊員としての仕事 ~その1・授業~



うるるんにっき2で協力隊について紹介した際、私の仕事について簡単にお話しました。覚えていますか？

現在の主な仕事は2つあります。1つは「授業をすること」、そしてもう1つが「学校の経営を助けること」です。



それぞれ具体的に紹介したいと思います。今回はザンビアの授業についてです。

春は、出会いと別れの季節と言われるように、日本では、4月に新年度が始まり、3月に終わりを迎えます。

一方、ザンビアでは、新年度は1月に始まり、12月に終わります。もっと言うと、始まる日と終わる日は、国によって決められているので、公立もコミュニティ・スクールも、ザンビア中のすべての学校が一斉に始まり、一斉に終わります。2023年度は12月1日に終わりました。

向陽館は前期・後期の2学期制ですが、ザンビアの学校は3学期制です。だいたい、1~3月が1学期、5~7月が2学期、9~11月が3学期となっており、12月の現在は、3学期が終わった後の長期休みです。

年度の始まりや終わりは国によって様々で、同じアフリカでも11月と12月の2ヶ月間休みの国があったり、6~9月が休みの国があったり・・・。(興味がある人はぜひ調べてみてください!) まだ来て5ヶ月ですが、ザンビアの「1月始まり、12月終わり」「3ヶ月学校、1ヶ月休み」というサイクルは、シンプルで働きやすいと感じています。



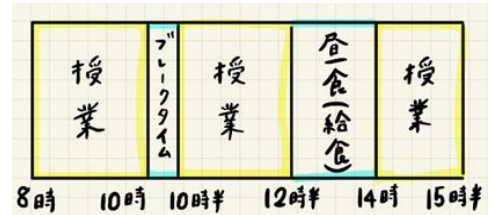
私は8月11日から本赴任（研修が終わって、それぞれの活動先に行くこと）となったので、3学期から加わりました。

9月は来ない先生の代わりに6・7年生の授業を担当し、新しい先生が加わってからは園児クラスの補助に回り、今度は園児クラスの先生が来なくなったので園児クラスを担当し・・・と、その都度、状況に合わせて授業をしていました。

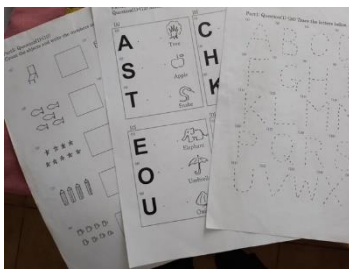
先生はボランティアということもあり、突然来なくなることがあります。残念ですが、コミュニティ・スクールの厳しい現実です。

次に、学校の1日の流れは、右の図のようになります。（図が見えにくくて、すみません。）

「8時～10時 授業」→「ブレイクタイム（30分）」→「10時半～12時半 授業」→「昼食（給食）（90分）」→「14時～15時半 授業」→「放課」となります。ただ、これも状況によって変わります。



昼食（給食）の材料がないので、午前中で終わるといふ日も何度もありました。なかなか予定通りに進まないということもまた、課題の1つです。



授業の話をする、11月からメインで担当した園児クラスでは、授業と言うより個別指導でした。

アルファベットやたし算の問題、塗り絵用の絵などをノートに書いて渡して、終わったら提出されたノートをチェックします。日本では丸付けですが、ザンビアでは正解に✓を付けます。与えられた課題に一生懸命取り組む姿、「先生、チェック付けて！」とウキウキしながら持ってくる姿、チェックを付けた時の嬉しそうな顔など、園児との触れ合いに日々胸がいっぱいになります。



ザンビアで園児の先生をするなんて思ってもみませんでした。何ものにも代えがたい貴重な体験をさせてもらっています。



結局、授業以外の話が長くなってしまいましたね。次回はもう1つの仕事「学校の経営を助けること」についてお話ししたいと思います。少し早いですが、皆様よいお年をお迎えください。

(2023.12.15 川井 真由)